

柳井町合同ジャズ ライブ!!



柳井町

合同ジャズライブ

実施日：平成 21 年 12 月 6 日

松山大学地域研究サークル「五友の会」

報告書

参加団体：松山大学 「五友の会」

：愛媛大学 音楽研究会「バachelラーズ」

：愛媛大学 軽音楽部「サウンドソリューション」

：柳井町再生プロジェクト 「Steady Crew」

平成 21 年 12 月 6 日、柳井町商店街にて
「学生イベント企画第 2 弾、もっと集まれ合同ジャズライブ！」を開催し、
学生・住民を合わせ、総勢 70 人ほどの人が柳井町に集まり、商店街に賑わいが生まれました。

前は、夜の演奏で寒かったことから、
お客さんが集まりにくかったので
今回は、
あえて時間帯を昼間に設定しました!!!
するとどうでしょう、
この日は昼間もかなり寒かったです(泣)。



しかし、
寒さとは関係なく前回よりも
確実にお客さんが集まってくださいました!(More 泣)



当日の準備の様子です。
午前 11 時に愛媛大学の部室塔に到着すると、
愛媛大学軽音楽部の皆さんが、
楽器を建物の入り口まで運び出してくれていて
スムーズに積み込みができました。
このときから寒かったですね～。



商店街での舞台準備の様子です。
あれっ！！ なんとパイプ椅子に、
小学校用の椅子が混じっていますね。
そうなんです。商店街のイベントでは、
機材を揃えていないことから
こんなことも起きてしまいます。
しかし、それが返って学生の手作り感が出るんですね。
バンドの皆さんのうけはバッチリでした！

もちろん私どものサークル「五友の会」も
参加して、当日は「おでん」と「焼き芋」を
用意しました。おでん 80 円・焼き芋150円。
準備は万端です！！

(おでんの仕込みは前日の夜中に行いました)



愛媛大学音楽研究会の代表、枝松君。
演奏開始時の挨拶をしてくださいました。
「私たちの演奏で柳井町商店街を
盛上げます！」
と力強く意気込みを語り演奏スタートです。

学生の演奏を楽しむ地域の皆さんです！
この日はジャズのスタンダードを中心に、
「枯葉」「セントトーマス」「いつか王子様が」
などが演奏されました。



この日のイベントの醍醐味の一つは、二つのジャズが楽しめること！

ジャズは、2～6人ほどの小編成のジャズ（コンボ）とスイングガールズのような15～30人ほどの大編成のジャズ（ビッグバンド）があります。

1stに「コンボ」、2stに「ビッグバンド」の演奏が行われました。



コンボ



ビッグバンド

一生懸命頑張ってくれた学生に、とにかく喜んでもらいたい！そんな想いを込めて、「五友の会」はいつも演奏の最後にお楽しみを用意します。

それがささやかな「さしいれ」です。

ボランティアはタダではないと思っておりますし、

「何かできることでお礼をしたい」

と考えているからです。

しかし、私たちができる精一杯のさしいれは、出演したサークルの全員にひとつのお芋を出すことです。それしかできなかつたですが、それだけなのに学生は本当に喜んで食べてくれました。（感謝）



補助金も援助もない中で、手伝ってくれた学生にお芋を出すことはとても大変なことです。（予算）

本日のお芋とおでんの売り上げ5500円からすると、赤字です。しかし、イベントのときに自分たちで稼ぎ、普段柳井町で「五友の会」が居酒屋風飲食店「UP・UP」にてイベント費用を稼いでいるからこそ、見るほうも演奏する方も双方が楽しめるイベントが実現するのです。

地域活性化は、今日、明日で簡単に実現するものではありません。
今回のイベントも、学生が楽しんだだけ、一時たくさんの人が集まっただけでは
商店街が潤うわけではないからです。

しかし、このような活動を通じて

商店街を舞台に学生が思い出を造り、
(思い出の場所は、大切にしたい、
失いたくないと人は感じるものです。)



地域の人が柳井町商店街で足を止め、
(商店主さんとお客さんの井戸端会議の場、
学生が盛り上げようとする柳井町が
これから面白くなりそういう期待創出。)



商店主さんが商売のやる気を取り戻す。
(自分たちの町に賑わいが
戻ってきそうな予感がする、
若者のアイデア、パワーに刺激を受ける)

そんな「地域の人づくり」を
少しずつ積み重ねていくことが、
地域活性化の第一歩に繋がると信じています。



報告者
松山大学学生地域研究サークル
「五友の会」 代表 宮田 潤